



平成23年9月2日

各 位

会 社 名 株式会社C&I Holdings
代表者名 代表取締役社長 松本 信彦
(コード: 9609、東証第2部)
問合せ先 経営企画課 IR室マネージャー 小澤 一瑚
(TEL. 03-5827-7211)

東京証券取引所による当社株式の上場廃止の決定 及び整理銘柄への指定に関するお知らせ

本日、東京証券取引所より、平成23年9月2日付をもって当社株式を整理銘柄に指定し、1ヶ月後の平成23年10月3日付で上場廃止となる旨の通知を下記のとおり受けましたのでお知らせいたします。

記

1. 上場廃止及び整理銘柄指定

- (1) 銘柄 株式会社C&I Holdings 株式
(コード: 9609 市場区分: 市場第二部)
- (2) 整理銘柄指定期間 平成23年9月2日(金)から平成23年10月2日(日)まで
- (3) 上 場 廃 止 日 平成23年10月3日(月)
(注)速やかに上場廃止すべき事情が発生した場合は、上記整理銘柄指定期間及び上場廃止日を変更することがあります。
- (4) 条 文 有価証券上場規程第601条第1項第11号b
(四半期レビュー報告書において「結論の表明をしない」旨が記載され、かつ、その影響が重大であると認められるため)
- (5) 理 由 株式会社C&I Holdings (以下「同社」という。)の平成23年12月期の第2四半期の連結財務諸表について、監査法人は「結論の表明をしない」旨を記載した四半期レビュー報告書を提出しました。
同社は、監査法人から「期限の利益を喪失した借入金の借入先である株式会社整理回収機構(以下「同機構」という。)との金融支援の交渉が難航しており、その帰趨が予測し得ない」ため、「四半期レビューに関する実務指針」の「継続企業の前提に関連して、将来の帰結が予測し得ない事象や状況の四半期財務諸表への影響が複合的で多岐にわたる場合」に該当するとの判断が下され、結論を表明しない旨の四半期レビュー報告書を受領しました。
同社によると、同社の同機構からの借入金残高は4,393百万円と連結負債総額5,558百万円の大半を占めています。また、前連結会計年度から引き続き平成23年12月期第2四半期も債務超過であり、連結債務超過額が3,473百万円の状況にあります。このような状況の中、同社は、同機構と金融支援に関する交渉を図ること

を掲げ、同機構との間でその方策を模索していましたが、継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況の解消に向けて実施した取組みについて同機構から認められず、同機構より強硬な姿勢が示され、その後、債務の全額弁済することを求める催告書を受領するに至り、同機構との交渉再開の目処が立っていません。

これらの状況を踏まえると、同社株式については、投資者の投資判断の基礎となる重要な情報が適正に開示されている状況とは到底認められず、これをそのまま放置するとすれば証券市場への信頼を著しく毀損するものであり、その影響が重大であると認められます。

以上